

平成 29 年度第 2 回 ISO/TC46 本委員会議事録

1. 日時: 2017 年 12 月 14 日(木) 14 時 ~ 16 時

2. 場所: 日本図書館協会会館 5 階 会議室 2

3. 出席:

委員	宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授(委員長)
	安形輝	亜細亜大学
	堀純子	国立国会図書館
	風間吉之	国立公文書館
	樋口清一	日本書籍出版協会
	斉藤隆行	科学技術振興機構
	植村八潮	電子出版制作・流通協議会
	大場高志	日本図書館協会
	中野茂	大日本印刷
	三島崇	経済産業省
	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料:

資料 1-1 (デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化) ISO 22038 進捗状況報告

資料 1-1 補足資料 ISO 22038 の ISO Project Portal 画面

資料 1-2 (デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化) ISO 20247 進捗状況報告

資料 1-2 補足資料 ISO 20247 の ISO Project Portal 画面

資料 2 平成 29 年度 ISO/TC46 投票報告(平成 29 年 7 月 3 日 ~ 12 月 14 日)

資料 3 平成 28 年度成果報告書目次

5. 議題

・ 前回議事録確認

「平成 29 年度第 1 回 ISO/TC46 本委員会議事録」が配布され、異議なく、確認された。

1) 平成 29 年度実施計画進捗状況報告

1-1) デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化

デジタルアーカイブ内のコンテンツの権利情報をどのように表示するかに関する標準。3 月に NP が承認され、5 月の総会で WG14 を宮澤委員長をコンビーナとして開始することが決まったが、SC9 事務局の手配が遅れたため、11 月 4 日ようやく登録された。11 月 17 日に WD を WG14 に回付され、12 月 29 日を締め切りとしてコメントを求めている状況である。

1-2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

デジタルアーカイブや図書館において原資料を管理するさいに付与する識別子に関する標準。7月5日まで DIS 投票があり、一部テクニカルコメントがついたため、発行段階の前に11月1日から12月27日までの期間で FDIS 投票が行われている状況である。経産省を通じた告知、国会図書館のカレントアウェアネス、図書館協会の図書館雑誌等を通じて、この標準の周知に努めている。今後、発行段階に合わせてさらなる広報活動を図る予定である。

1-3) デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備

前回委員会会合から今回までに各 SC での活動に関して特段の報告はない。

2) ISO/TC46 投票報告

前回会議から CD 投票 1 件、CIB 投票 2 件、SR 投票 9 件が行われたことが報告された。

ISO 8 は雑誌の体裁に関する古くからの標準であり、その改訂案の CD 投票があった。この投票は電子ジャーナルの体裁についても言及したほうがよい、という米国からの提案で始まった。今回の CD 投票では関係各所からコメントを求めた。日本としては JST からのコメントを出したが、WG で日本のコメントがきちんと取り上げられるかがわからないため、JST の木村氏を日本からエキスパートとして WG に登録した。

資料にはないが、TC46 国際委員会のメーリングリストで本日(12月14日)に流れたメールで、information governance についての adhoc グループが立ち上がり、検討されることになった。

3) 成果報告書について

昨年度の目次をもとにして説明があった。今年度の報告書は宮澤委員長、各 SC リーダ、事務局が分担して執筆することが承認された。

4) その他

次年度からの3年間の予定で、経済産業省からの受託事業に申請を出したことが報告された。

情報科学技術協会標準化事業のもとに TC46 と TC37 の国内委員会を位置付ける上での制度上の整備が進んでいることが報告された。

TC46 には ISO 3166 国名コードがあり、そのメンテナンスエージェンシーに JISC が宮澤委員長をメンバーとして登録している。その会合に出席するために、宮澤委員長が次週ジュネーブに行くことが承認された。

以上